

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社サト一商会 上場取引所 東
コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古山 眞佐夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤原 督大 (TEL) 022-236-5600
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	23,136	11.4	729	12.5	837	14.5	568	13.9
2023年3月期第2四半期	20,765	12.1	648	112.2	731	81.7	498	86.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 588百万円(23.2%) 2023年3月期第2四半期 477百万円(73.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	68.13	—
2023年3月期第2四半期	59.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,589	24,779	67.7
2023年3月期	33,346	24,324	72.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 24,779百万円 2023年3月期 24,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,600	9.0	1,480	19.3	1,700	25.5	1,180	21.9	141.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	9,152,640株	2023年3月期	9,152,640株
2024年3月期2Q	812,241株	2023年3月期	812,241株
2024年3月期2Q	8,340,399株	2023年3月期2Q	8,340,412株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動の正常化が進展し、国内の消費活動は回復基調にあります。しかしながら一方で、為替相場の円安進行、原材料価格やエネルギー価格の高騰、また、物価上昇による消費マインドの変化やコロナ禍での行動様式の変化や長期化する採用難等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと当社グループは、「会社の堅実な運営発展」と「社員の豊かな生活増進」を経営理念とし、アフターコロナの商機を確実に奪取すべく市場における潜在的な需要を掘り起こし、業種別のサービス力強化とプライベートブランド商品の開発、シェア拡大に注力し、営業の現場力強化を最優先にお客様の課題解決のための提案を行い、市場占有率向上にむけて取り組んでおります。

この結果、売上高231億36百万円(前年同四半期比11.4%増)、営業利益は7億29百万円(同12.5%増)、経常利益は8億37百万円(同14.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億68百万円(同13.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、インバウンド需要の増加や外出機会の増加による人流の回復、4年ぶりに各種イベントが開催されたことなどにより特に外食業種が大きく伸張し、その他の業種につきましても前年売上高を上回り好調に推移しました。また、お客様の現場の課題解決につながる商品として当社のプライベートブランドである「J F S A」の高付加価値商品の開発を進め、直接当社のお客様に商品を手にとっていただく機会として展示会を開催することで、高齢化や生産年齢人口の減少による人手不足など社会環境の変化への対応とお客様のニーズに沿った商品の開発と提案を行い、市場占有率と競争力の相乗効果を図っております。

この結果、売上高198億64百万円(前年同四半期比10.5%増)、セグメント利益(営業利益)は9億38百万円(同18.6%増)となりました。

小売業部門におきましては、行動制限が解除され外出機会も増加したことから、主要顧客である中小飲食店やイベント業者も徐々に回復しております。飲食店向けには従来の展示即売会に加え、新たに飲食店の課題解決に貢献すべく、課題解決提案会を全店舗で実施し、飲食店メニューに役立つ様々な提案を行ってまいりました。来客数は増加しておりますが、急激な物価上昇に伴い、低価格志向など根強い生活防衛意識が一層高まるなど厳しい状況が続いております。

ツルハドラッグ店舗内店舗も宮城県、山形県に計2店舗出店し、9月末現在では合計9店舗となり、当社の認知度の向上、新規顧客を獲得するなど販路拡大に貢献しております。また、9月には市名坂東店(宮城県仙台市)の改装を行い、テナントに精肉店を誘致し、お客様に利便性の高い店舗であることを認知いただき好評を得ております。

この結果、売上高32億72百万円(前年同四半期比17.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1億89百万円(同9.2%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の販売実績を業種別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門		
製菓業種 (千円)	3,524,326	105.9
弁当給食業種 (千円)	2,210,925	110.0
事業所給食業種 (千円)	1,800,848	110.7
メディカル給食業種 (千円)	2,715,335	111.2
学校給食業種 (千円)	1,850,416	108.9
外食業種 (千円)	3,622,470	120.1
惣菜業種 (千円)	3,598,660	107.8
その他 (千円)	541,385	103.7
計 (千円)	19,864,367	110.5
小売業部門 (千円)	3,272,172	117.5
合計 (千円)	23,136,539	111.4

(注) 小売業部門の業種別は該当ありません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ32億42百万円増加し、365億89百万円となりました。これは主に、四半期連結累計期間の末日が銀行休業日となり、決済が月ずれとなったことに伴う現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ27億88百万円増加し、118億9百万円となりました。これは主に、四半期連結累計期間の末日が銀行休業日となり、決済が月ずれとなったことに伴う支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億54百万円増加し、247億79百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益、並びに株主配当金支払のための利益剰余金取崩しによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.7%(前連結会計年度末72.9%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ21億97百万円増加し、124億24百万円(前年同四半期111億19百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は29億80百万円(前年同四半期6億95百万円の獲得)となりました。これは主に、四半期連結累計期間の末日が銀行休業日であったことに伴う仕入債務の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億49百万円(前年同四半期8億30百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億33百万円(前年同四半期1億25百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年9月15日付「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり上方修正しております。詳細につきましては2023年9月15日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外食業種を中心に好調に推移しており既存顧客への営業活動強化の成果も現れてきておりますが、国際情勢の不安定や一般管理費の月ずれやインフレ懸念等もあることから売上高、営業利益、経常利益、最終利益の予想の変更はございません。業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,626,949	3,824,348
受取手形及び売掛金	4,777,719	5,359,496
有価証券	9,600,000	9,100,000
商品	2,657,543	2,536,006
その他	526,570	497,798
貸倒引当金	△22,589	△25,140
流動資産合計	19,166,192	21,292,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,123,062	2,112,372
土地	3,589,079	3,589,079
その他(純額)	488,307	547,052
有形固定資産合計	6,200,448	6,248,504
無形固定資産		
	171,063	198,368
投資その他の資産		
投資有価証券	6,161,345	7,190,970
その他	1,652,256	1,664,376
貸倒引当金	△5,064	△5,559
投資その他の資産合計	7,808,537	8,849,787
固定資産合計	14,180,049	15,296,660
資産合計	33,346,241	36,589,169
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,195,891	8,762,932
短期借入金	683,000	683,000
未払法人税等	247,000	286,000
賞与引当金	377,844	409,053
その他	1,139,908	1,257,966
流動負債合計	8,643,644	11,398,952
固定負債		
役員退職慰労引当金	226,216	238,800
退職給付に係る負債	58,373	59,652
資産除去債務	57,772	76,306
その他	35,273	35,631
固定負債合計	377,635	410,390
負債合計	9,021,280	11,809,342

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,744	1,441,744
利益剰余金	22,426,586	22,861,348
自己株式	△999,127	△999,127
株主資本合計	24,275,003	24,709,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,384	60,866
退職給付に係る調整累計額	11,573	9,195
その他の包括利益累計額合計	49,958	70,061
純資産合計	24,324,961	24,779,827
負債純資産合計	33,346,241	36,589,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	20,765,506	23,136,539
売上原価	16,083,166	18,026,362
売上総利益	4,682,340	5,110,176
販売費及び一般管理費	4,033,993	4,380,474
営業利益	648,346	729,702
営業外収益		
受取利息	43,109	46,131
受取配当金	5,780	5,241
持分法による投資利益	6,482	10,576
受取賃貸料	28,255	54,073
その他	8,992	15,841
営業外収益合計	92,621	131,863
営業外費用		
支払利息	995	897
賃貸収入原価	8,293	22,899
その他	—	246
営業外費用合計	9,289	24,042
経常利益	731,678	837,523
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,721
特別利益合計	—	1,721
特別損失		
固定資産除却損	2,924	1,396
その他	55	—
特別損失合計	2,980	1,396
税金等調整前四半期純利益	728,697	837,847
法人税、住民税及び事業税	220,415	267,159
法人税等調整額	9,385	2,479
法人税等合計	229,800	269,639
四半期純利益	498,897	568,208
親会社株主に帰属する四半期純利益	498,897	568,208

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	498,897	568,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,246	22,481
退職給付に係る調整額	△2,077	△2,378
その他の包括利益合計	△21,324	20,103
四半期包括利益	477,573	588,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	477,573	588,311
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	728,697	837,847
減価償却費	158,082	171,361
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,769	12,583
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,490	31,208
受取利息及び受取配当金	△48,889	△51,372
支払利息	995	897
持分法による投資損益(△は益)	△6,482	△10,576
投資有価証券売却損益(△は益)	55	△1,721
固定資産除却損	2,924	1,396
売上債権の増減額(△は増加)	△622,751	△581,777
棚卸資産の増減額(△は増加)	△421,436	120,887
仕入債務の増減額(△は減少)	933,256	2,567,041
その他	34,076	51,366
小計	777,250	3,149,143
利息及び配当金の受取額	52,040	60,766
利息の支払額	△1,004	△911
法人税等の支払額	△132,471	△228,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	695,814	2,980,573
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	500,000	500,000
譲渡性預金の純増減額(△は増加)	△1,100,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△140,816	△108,734
無形固定資産の取得による支出	△48,643	△8,145
投資有価証券の取得による支出	△598	△1,500,598
投資有価証券の売却による収入	184	4,719
その他	△40,786	△36,753
投資活動によるキャッシュ・フロー	△830,661	△649,512
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△125,107	△133,446
その他	△332	△216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,439	△133,662
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△260,286	2,197,399
現金及び現金同等物の期首残高	11,380,076	10,226,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,119,790	12,424,348

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	17,980,450	2,785,055	20,765,506	—	20,765,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,980,450	2,785,055	20,765,506	—	20,765,506
セグメント利益	791,574	173,884	965,458	△317,112	648,346

(注) 1. セグメント利益の調整額△317,112千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	19,864,367	3,272,172	23,136,539	—	23,136,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,864,367	3,272,172	23,136,539	—	23,136,539
セグメント利益	938,626	189,966	1,128,593	△398,891	729,702

(注) 1. セグメント利益の調整額△398,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。